

秋田県にかほ市都市ガス事業，東海ガスに譲渡決まる

1. 株式会社TOKAIホールディングス（鶴田勝彦社長）の100%子会社である東海ガス株式会社（植松章司社長，本社・静岡県焼津市）は24日，秋田県にかほ市が運営する都市ガス事業を譲り受けることとなったと発表した。同社は，今年4月から群馬県下仁田町の都市ガス事業を譲り受け，TOKAIグループの中期経営計画の一環である都市ガス事業の広域エリア展開に乗り出したが，にかほ市の都市ガス事業への進出はその第2弾となる。

2. にかほ市と東海ガスの間でにかほ市都市ガス事業の譲渡仮契約が締結されたのは2019年3月28日。5月16日に開かれた「にかほ市議会臨時会」でガス事業譲渡に関する議案が可決され本契約が成立したもの。東北経済産業局長の認可及びガス事業法に基づく手続きを経て，2020年4月1日を譲受日として事業を引き継ぐ。

にかほ都市ガスの需要家件数は5,172件，ガス販売量は2,088千 m^3 。売上高417百万円。東海ガスの都市ガス需要家件数は56,054件。このほかに簡易ガスとLPガス需要家件数がそれぞれ1,296件，17,702件。ガス販売量は都市ガス134,506千 m^3 ，簡易ガス146千 m^3 ，LPガス6,094ト ン 。都市ガスのガス種はともに13A。

3. にかほ市では，平成18年に「にかほ市行財政改革大綱」「にかほ市集中改革プラン」を策定し，その中で公営企業として運営しているガス事業については「官から民へ」の観点から，民間譲渡の検討を進めてきた。平成21年度に「にかほ市公営企業運営審議会」が22年度に「民営化すべき」との答申を出している。23年度に譲渡先の公募を行ったが，1社のみ応募で不調に終わっていた。その後，平成29年4月にガス事業法が改正され，ガスの小売りが自由化されたのを受けて，再度ガス事業者以外の譲渡先公募を行ったもの。平成30年4月現在の全国の都市ガス事業者は202社。うち公営ガス事業者は24社。このうち民間への譲渡が決まっているか，あるいは譲渡を検討している事業者は9社となっている。

過疎化の進展＝人口減少やオール電化住宅の普及など他エネルギーとの競争が激化し民生用ガス需要が低迷する一方での地方自治体の財政逼迫。経年劣化するガスの配管取り換えや保安経費高騰，人手不足などにより，地方自治体でのガス事業の運営は困難になっている。ガス事業だけでなく水道事業なども運営が難しくなっている。民営化が全国的に進んできている。ただし，民営化がガス・水道などの過疎地への安定供給につながるかどうかは議論のあるところ。ガスと電気の自由化で都市部での価格引き下げ競争は盛んだが…。